

6 環境マネジメントの推進

環境マネジメントによる継続的改善

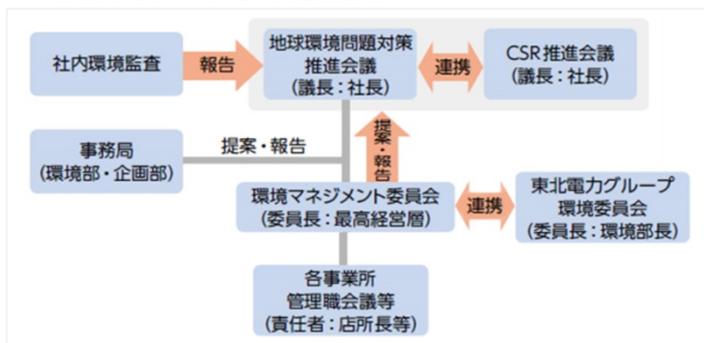
当社企業グループは、環境への取り組みの基本的考え方である「東北電力グループ環境方針」を掲げ全社員で共有するとともに、環境マネジメントを推進し環境への取り組みの継続的改善を図っています。

運営体制

社長を議長とする「地球環境問題対策推進会議」において、全社的な環境マネジメントを総合的な観点から横断的に審議し、地域社会とともに持続可能な発展を目指した環境経営を推進しています。

また、「環境マネジメント委員会」において、全社的な環境マネジメントの方針・計画、個別施策、実績評価について部門横断的に審議し、地球環境問題対策推進会議に提案・報告しています。

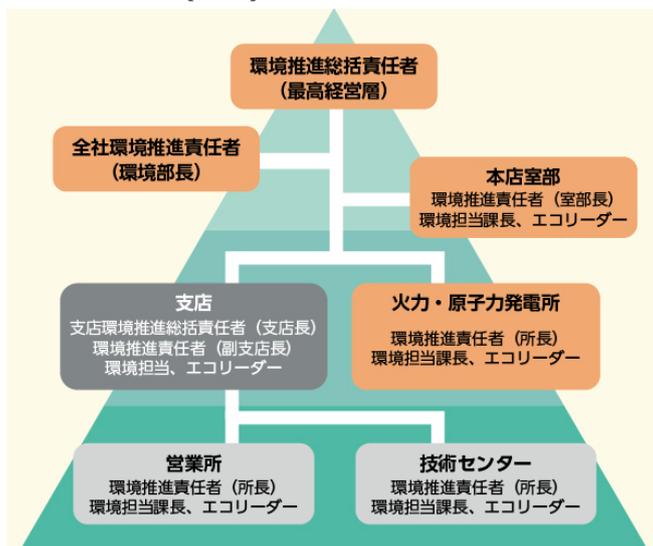
◆ 環境マネジメントの運営体制



組織体制

「環境推進総括責任者」を最高経営層とし、経営の一環として、会社全体の鳥瞰的な環境マネジメントを推進しています。また、室部長、店所長を「環境推進責任者」に据え、事業活動と一体となった環境活動を推進しています。

◆ 組織体制図(概略)



社内環境監査

環境マネジメントの運用状況について、業務機関ごとに社内環境監査を実施しています。その結果は、経営層に報告するとともに、課題の抽出や改善の提案、良好事例の水平展開を図っています。

2014年度は、11事業所で社内環境監査を実施し、適切に運用されていることを確認しました。

◆ 社内環境監査実施事業所 (2014年度)

本店	1カ所	環境部
発電所	1カ所	能代火力
支店・支社	2カ所	宮城、山形
営業所	4カ所	水沢、仙台、米沢、佐渡
技術センター	3カ所	青森、秋田、須賀川

環境教育・研修

従業員の環境意識向上を図るため、新任管理職教育、新入社員教育などにおいて、環境教育を実施しています。

また、環境講演会の実施、社内イントラネットによる情報発信も行っています。



環境への取り組みに対する意識向上等を目的とした事業所における環境教育の様子



当社グループ企業従業員の環境意識高揚と知識向上を目的とした「環境講演会」の様子

6 環境マネジメントの推進

環境マネジメントによる継続的改善

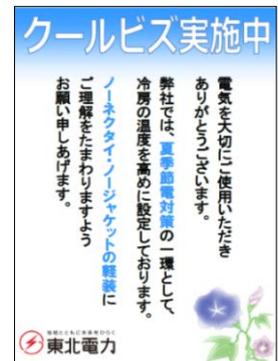
事業所における節電・省エネルギーの徹底

当社企業グループでは、電力需要が高まる夏季および冬季を中心に「節電アクションプラン」を策定し、節電・省エネルギーの徹底に取り組んでいます。具体的には、当社事業所オフィスにおいて、夏季の最大使用電力および電気使用量の2010年度同月実績比30%削減を目指し、推進しています。

目標達成を支援するため、また、ヒートポンプなどの高効率機器導入効果の把握や設備の運用改善のために、電気使用量の“見える化”装置を活用しています。なかでも本店ビルでは、BEMSにより数ある高効率機器の運転状態をデータで把握し、節電アクションプランによる定量効果を確認したり、機器性能を十分に発揮させる運用改善に有効活用しています。

◆ 夏季節電アクションプランの主な内容と効果（本店ビルの場合）

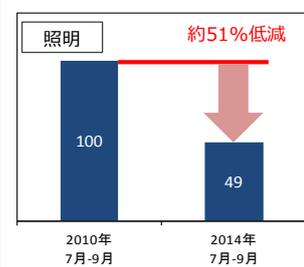
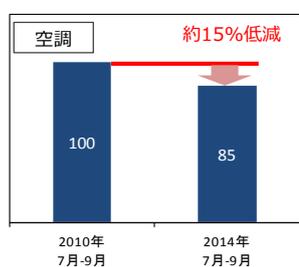
空調	<ul style="list-style-type: none"> 室内温度28℃を目安とした運用、クールビズの実施 昼休みならびに業務時間終了後の原則運転停止
照明	<ul style="list-style-type: none"> 執務室および共用スペース（ロビー、廊下など）の蛍光灯などの間引きの継続 終業時の一斉消灯 日中の執務室および共用スペース（廊下など）の原則全消灯 夜間における外灯の最小限利用の徹底
その他	<ul style="list-style-type: none"> トイレ手洗い給湯の停止および便座暖房の停止 自動ドアの利用制限



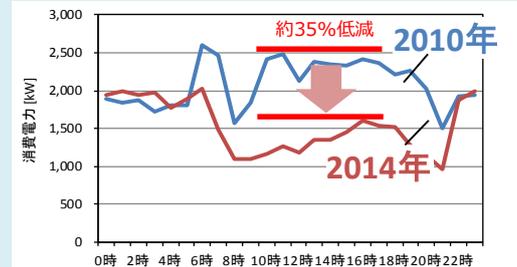
クールビズ運動のポスター

効果

〔震災前後の使用電力量比較（7～9月） 2010年を100としたとき〕



〔震災前後の日中最大電力比較(夏季積算電力量ピーク日)〕

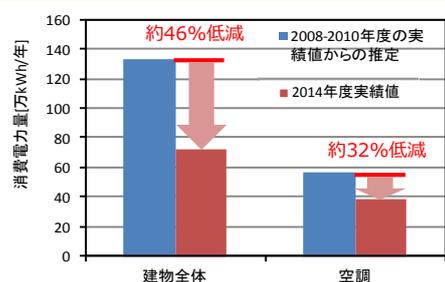


TOPICS

エネルギー計測にもとづく継続的な省エネ

長岡営業所において、2013年度に高効率ビル用マルチエアコンや大温度差水蓄熱式空調システム、LED照明などの高効率機器を導入し、その後、継続的にエネルギー計測を行いながら運用改善を行っています。

高効率機器の導入に加え、エネルギー管理により外調機（外気を処理する空調機）の設定吹出し温度の改善を実施することで、工事前と比較して建物全体で約46%、空調で約32%のエネルギーを削減することができました。2015年度は、大温度差水蓄熱式空調システムの運用改善に取り組む予定です。



長岡営業所における年間電力使用量の削減効果

VOICE さらに省エネルギーに向けて

土木建築部（建築） 長谷川 智
佐藤 久遠
※所属は、2015年7月時点のものです。



私たちは、「環境調和・地域貢献」「経営効率化」を目的に、社有建物の一層の省エネに取り組んでいます。至近では、当社営業所向けに、使用電力量の計測に基づき、空調設定温度に関する省エネアドバイスをしたり、ロードヒーティングの運転制御フローについて、路面温度等を考慮する設定への改善に関する検証を行っています。引き続き、高効率機器の導入や運用改善により、さらなる省エネルギーに努めていきたいと思っております。